



2024年 3 月22日

各 位

会社名 フィード・ワン株式会社
代表者名 代表取締役社長 庄司 英洋
(証券コード 2060 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員経営企画部長 名古屋 裕
TEL 045 (311) 2300

中期経営計画2026～1st STAGE for NEXT 10 YEARS～ 策定に関するお知らせ

当社は、『中期経営計画2026～1st STAGE for NEXT 10 YEARS～』（2025年3月期～2027年3月期）を策定いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。
具体的な内容につきましては、添付の別紙をご参照ください。

記

1. 策定の背景と目的

『中期経営計画2026～1st STAGE for NEXT 10 YEARS～』は、新たに設定したPurpose「飼料で食の未来を創り、命を支え、笑顔を届ける」を実現するための、10年後を見据えた土台づくりの期間と位置付けます。

今後10年間で約800億円の大規模投資を行うための基礎収益力を向上させることを基本方針とし、真のリーディングカンパニーに相応しい、強く持続可能な経営基盤と収益力構築を目指します。

2. 計画値（連結）

	2027年3月期
R O E	8%
R O I C	6%
E B I T D A	115億円
販 売 数 量	390万トン

3. 株主還元方針

当社は株主への利益還元として「配当」を重視しております。安定した配当を基本とし、持続的な成長を可能にするための「設備投資」「研究開発」「人材育成」に積極的な投資を行いつつ、連結配当性向25%以上を目標といたします。

注）本資料に記載された予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

また、様々な要因の変化により実際の業績や結果とは異なる可能性があることをご承知おき下さい。

以 上

中期経営計画2026 1st STAGE for NEXT 10 YEARS

Purpose

飼料で食の未来を創り、命を支え、笑顔届ける



飼料

統合前から社名に冠する当社最大の財産であり、創業からの想いを大切にしています



食の未来を創る

当社事業の対象領域は「食」全体であり、新しい挑戦、イノベーションを追求し、「未来」を見据えています



命を支える

家畜・養殖魚たちの命に常に真摯に向き合い、その先の人命をも支える重要な仕事を我々は担っています



笑顔届ける

食卓にあふれる笑顔のみならず、生産者・取引先・株主、当社グループ社員等、すべてのステークホルダーの皆様の持続的な幸福を考えています

Purpose設定に伴うMVVの更改

Mission

いちりゅうまんばい
一粒万倍

飼料一粒を製造するためには様々な人の手や目に見えない想いが託されており、それらは飼料をご使用いただく皆様、消費者の皆様の安心安全に向けられています。環境変化の激しい畜水産業界において、この想いを持ち、飼料の安定供給に真摯に取り組み続けることが、リーディングカンパニーである当社の使命と考えています。

Vision

“ONE”
**「1」にこだわり、
選ばれる企業へ**

当社社名に掲げる「ONE(1)」の下、「安心安全第一」、「業界No.1」である真のリーディングカンパニーとなり、生産者・取引先・株主・当社グループ社員等、すべてのステークホルダーの皆様に「フィード・ワンを選べば間違いない」と思っていただける企業となることを目指します。

Values

常に顧客・消費者の目線でニーズ・課題を捉え、問題解決に取り組みます。

安心安全な食の提供に向けて、**コンプライアンス経営を徹底します。**

高い専門性を持ち、時代の変化を捉えて常にチャレンジする人材を育成します。

「思いやりを持つこと」「Fairであること」「謙虚であること」を常として、社会の信頼に真摯に応えます。

今後10年の目指す姿

Purpose 飼料で食の未来を創り、命を支え、笑顔を届ける

Vision 「1」にこだわり、選ばれる企業へ
を実現するために

経営目標

2023*

EBITDA	109億円
ROE	10.2%
ROIC	6.7%
経常利益	75億円
販売数量	379万トン

*2023年度は2024年2月2日発表の通期業績予想数字より算出

投資の実現と効果の発現を
成し得るための
基礎収益力向上期間

2026

EBITDA	115億円
ROE	8%
ROIC	6%
販売数量	390万トン

2033

の目標
(中計3回を終えた10年後)

EBITDA	160億円以上
ROE	10%以上
ROIC	8%以上
販売数量	480万トン

成長ストーリー

第1フェーズ

2015~2023

~ひとつになって、未来へ~
統合による事業基盤の確立

第2フェーズ

2024~2033

1st STAGE 2024~2026

2nd STAGE 2027~2029

3rd STAGE 2030~2032

第2フェーズ総投資額

約800億円

大規模投資の実現

2nd STAGEまでに600億円程度を実行

製造設備

生産体制の再構築、CO₂排出量削減に向けた取り組み

人的資本

人材育成や従業員エンゲージメント向上に向けた、人的資本への投資

畜水産DX

DX化推進による畜水産業界の生産性向上、営業体制強化

R&D

環境配慮型飼料(メタンガス排出量低減、魚粉使用量低減飼料)の開発

海外

海外の先端技術の国内導入、海外ビジネスの拡大

主な非財務指標

CO ₂ 排出量	2030年度に2020年度比50%削減
ダイバーシティ管理職比率	2030年度に15%
男性育児休業取得率	2026年度に80%

企業価値向上の取り組み ~PBRの改善に向けて~

成長性の加速と 収益性の向上

- 成長投資
- 投資効率向上
- 事業ポートフォリオ見直し



資本コスト 経営の実行

当社の想定する
株主資本コスト **8%**[※]
WACC **6%**[※]

最適資本構成の実現

- 適切な資本/負債バランスの実現
- 株主還元の強化



経営基盤の強化

- 人的資本投資の推進
- ガバナンス向上
- サステナビリティ対応



IRの強化

- 経営陣による投資家との対話
- 有価証券報告書、統合報告書、決算説明資料の充実
- 英文開示の拡大



※当社の想定する資本コストは、類似上場会社のβ値・D/Eレシオを考慮に加えたCAPMベースの計算式で算定しております

キャッシュフローアロケーション (1stSTAGE & 2ndSTAGE)

ソース

2024年度からの6年間で
新たに生み出すキャッシュ

営業CF

600億円以上

保有資産の最適化

外部負債

営業CF、財務CFによるキャッシュインをベースに、外部負債はD/Eレシオを意識し、財務規律を維持してまいります。

アロケーション

株主還元

配当 安定した継続的な配当を基本
連結配当性向25%以上を目標

設備・成長投資
600~700億円

飼料製造設備

食品加工設備

R&D設備

の大型更新

人財（人的資本） R&D 畜水産DX
海外 への投資で持続的な成長を実現

飼料業界のリーディングカンパニーとして日本の食料安全を支えるべく、規模感のある飼料製造設備投資を実施します。
連結配当性向は、投資が大幅に増加する環境においても25%以上を目標とし、安定した配当の継続と段階的な増配を検討します。